

令和6事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 6年4月 1日

至：令和 7年3月31日

国立大学法人鹿児島大学

令和6年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,783	15,209	427	(注1)
うち補正予算による追加	－	138	138	
施設整備費補助金	2,169	2,025	▲ 144	(注2)
うち補正予算による追加	－	22	22	
補助金等収入	655	1,716	1,061	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	36	36	－	
自己収入	34,092	34,776	685	
授業料、入学金及び検定料収入	5,562	5,577	14	(注4)
附属病院収入	27,772	28,272	500	(注5)
財産処分収入	－	0	0	
雑収入	757	927	170	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,963	3,391	428	(注7)
引当金取崩	－	42	42	(注8)
長期借入金収入	1,589	1,441	▲ 148	(注9)
前中期目標期間繰越積立金取崩	－	1,960	1,960	(注10)
目的積立金取崩	－	416	416	(注11)
引当特定資産取崩	－	39	39	(注12)
計	56,287	61,052	4,765	
支出				
業務費	47,057	49,810	2,753	
教育研究経費	20,519	20,514	▲ 5	(注13)
診療経費	26,538	29,295	2,758	(注14)
施設整備費	3,795	3,502	▲ 292	(注15)
補助金等	252	1,308	1,055	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,963	3,468	505	(注17)
長期借入金償還金	2,220	2,133	▲ 86	(注18)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	56,287	60,221	3,934	
収入－支出	－	831	831	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で予定していなかった特殊要因運営費交付金等の追加措置により、予算額に比して決算額が427百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、特高受変電設備更新や災害復旧事業の計画変更等により、予算額に比して決算額が144百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入には、授業料等減免費交付金407百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。その他については予算段階では予定していなかった地域産学官連携科学技術振興拠点施設整備費補助金等の補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1,061百万円多額となっております。

(注4)授業料、入学金及び検定料収入については、入学料収入及び授業料収入の増収により予算額に比して決算額が14百万円多額となっております。

(注5)附属病院収入については、平均在院日数の短縮、手術件数の増、高額薬の使用による入院診療単価の向上に伴う入院診療収入の増等により、予算額に比して決算額が500百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、動物治療収入及び農場収入の増収等により、予算額に比して決算額が170百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が428百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職給付引当金等の取崩しにより、予算額に比して決算額が42百万円多額となっております。

(注9)長期借入金収入については、基幹・環境整備の計画変更により、決算額が148百万円少額となっております。

(注10)前中期目標期間繰越積立金取崩については、予算段階では計上していなかった前中期目標期間繰越積立金の取崩しにより、予算額に比して決算額が1,960百万円多額となっております。

(注11)目的積立金取崩については、予算段階では計上していなかった目的積立金の取崩しにより、予算額に比して決算額が416百万円多額となっております。

(注12)引当特定資産取崩については、予算段階では計上していなかった引当特定資産の取崩しにより、予算額に比して決算額が39百万円多額となっております。

(注13)教育研究経費については、経費の節減に努め、翌年度以降の資産の更新等のために繰入たため、予算額に比して決算額が5百万円少額となっております。

(注14)診療経費については、(注5)に示した理由により医薬品費及び診療材料費の増加や教職員の人件費の増額の影響から、予算額に比して決算額が2,758百万円多額となっております。

(注15)施設整備費については、(注2)及び(注9)に示した理由により、予算額に比して決算額が292百万円少額となっております。

(注16)補助金等については、(注3)に示した理由により受入額が増額したため、予算額に比して決算額が1,055百万円多額となっております。

(注17)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により受入額が増額したこと等により、予算額に比して決算額が505百万円多額となっております。

(注18)長期借入金償還金については、借入利率の見直し等により、予算額に比して決算額が86百万円少額となっております。